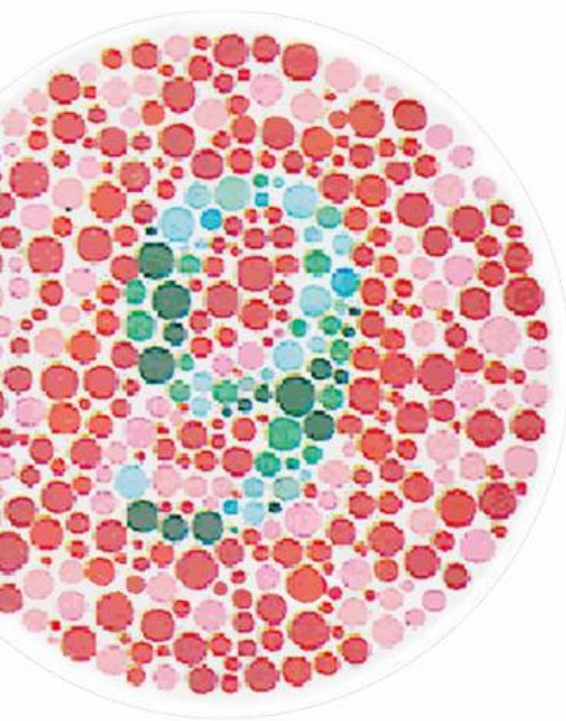
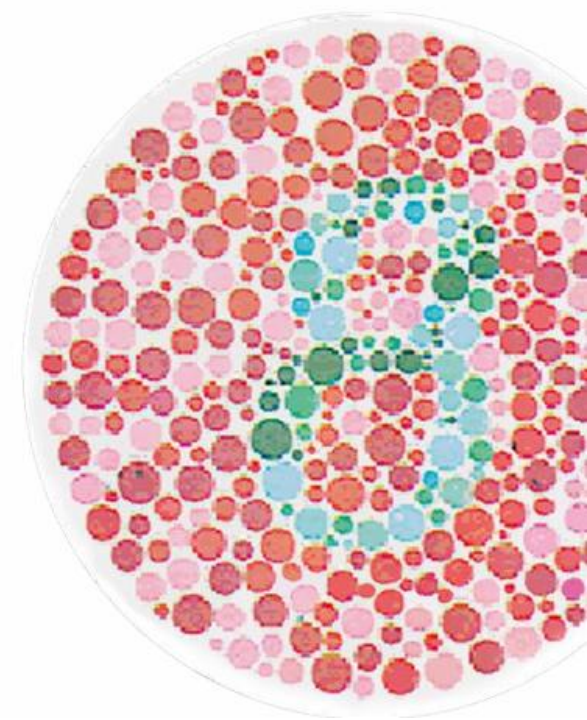




令和7年度大阪市市民活動推進助成事業 カラーサポートプログラム 活動報告

人それぞれの色の見え方を体験すれば・・・

2026年6月17日



事業目的

美術展・アート展など、「色」が重要な意味を持つ催しにおいて、色覚少数派には多数派の色の見え方を体験できる簡易型色覚補助レンズ「Reading Colors AD」を、多数派には少数派の色の見え方を体験できる色覚体験レンズを貸し出し、それぞれの“見え方の違い”を体験できる機会を提供しています。

色覚少数派



簡易型色覚補助レンズ
『Reading Colors AD』



色覚多数派



色覚体験レンズ

作品鑑賞を楽しみながら、
色覚について考えるきっかけをつくり、
「色の見え方は人それぞれ違う」という理解を広げる

UNKNOWN ASIA2025での展開

- 来場者 7,980人
- 体験者 約90人
- 従事者 のべ20人



■開催概要■

『紀陽銀行 presents UNKNOWN ASIA 2025』

開催日程

2025.12.6[sat] 10:00 - 20:00

2025.12.7[sun] 10:00 - 17:00

2025.12.5[fri] 15:00 - 20:30 VIP PREVIEW (関係者、招待者のみ)

[会場]

梅田サウスホール

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目13番1号 大阪梅田ツインタワーズ・サウス 11F

[主催]

UNKNOWN ASIA実行委員会



NPO法人 True Colors

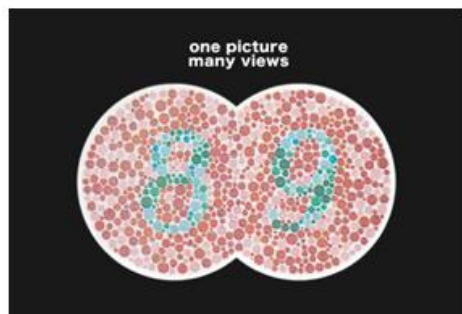
実施内容



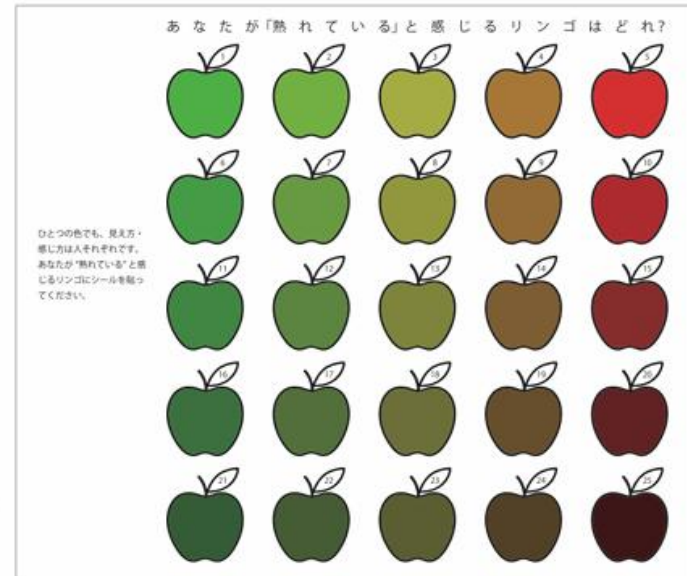
簡易型色覚レンズ「Reading Colors AD」
／色覚体験レンズの無償貸出

「熟れている林檎の色は？」投票

ダブルビジョン ポストカード



色覚についてのアドバイス



NPO法人 True Colors

参加者の声

「初めて作品を“楽しい”と思った」

「見えていなかった色の境界が見えた」

「こんなふうに見えてたん？」

「知ることが大切」



NPO法人 True Colors

メディア掲載

本取り組みは共同通信社による取材・記事配信をきっかけに、
全国の新聞・ニュースメディア等で紹介されました。



北海道新聞

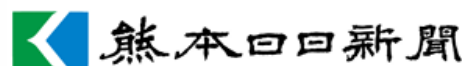
DIGITAL



山陽新聞社

新潟日報

山陰中央新報デジタル



今後の展望と展開



美術展・アート展の主催者に対して、色の見え方の違いによって芸術に触れるハードルを高く感じている色覚少数派の方々への理解を促し、カラーサポートプログラムの導入を広げていきたいと考えています。

公共施設などで**老眼鏡**が**常備**されているように、美術展・アート展などにおいても、簡易型色覚補助レンズを自然に利用できる環境づくりを目指しています。